

関東学院大学の求める教員像及び教員組織の編制方針

関東学院大学は、理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編制・実施方針を踏まえて、「求める教員像」と「教員組織の編制方針」を次のとおり定める。

求める教員像

- 1 関東学院の教育の土台であるキリスト教の精神に理解があり、本学の一員として協働できる者
- 2 大学における教育研究活動に従事するにふさわしい能力を有しており、絶えずその向上に努めることができる者
- 3 授業、研究指導、学生支援等に熱心に取り組み、学生の信頼に応えることができる者
- 4 教育研究上の成果を広く社会に還元し、社会の発展に寄与することができる者
- 5 本学の発展のために、大学運営に積極的に関わることができる者

教員組織の編制方針

【大学（全学共通）】

- 1 大学設置基準や大学院設置基準等の関連法令に基づき、学部・研究科における教育研究上の目的を実現するために必要な教員を配置する。
- 2 研究の活性化や教育力の向上等の大学の目的に応じ、総合研究推進機構等に教員を配置する。
- 3 大学諸規程等に基づき、教員の募集、採用、昇任等を公正且つ適切に行う。
- 4 特定の年齢層に偏ることのないよう配慮するとともに、教育研究上の目的を踏まえて、国際性や男女比等にも留意し、教員組織を編制する。
- 5 組織的・多面的なFD活動を行い、絶えず教員の資質向上を図る。
- 6 組織的な連携体制により教育研究を行うため、必要な役職を配置し、責任所在の明確化と役割分担の適切化を図る。
- 7 教員組織の編制に関する適切性は、大学自己点検・評価委員会において全学的・定期的に検証を行う。

【国際文化学部国際文化学科】

- 1 [編制方針] 国際文化学科では、教育研究上の目的を達成するため、以下に定める3つのコースの教育・研究指導方針を踏まえ、教員組織を編制する。

- ・英語文化コースは、学生が英語圏の言語、文化、文学、コミュニケーションに関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。
- ・グローバル歴史文化コースは、学生が日本・アジア・欧米の歴史と文化に関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。
- ・多文化協働コースは、協働的な学びを基盤として、学生が国際協力・開発、言語による支援、教育による支援に関する課題を発見し探究することができるよう、専門教育と研究指導を行う。

2 [専門分野、教員配置] 教育課程との整合性を重視し、学科の専門分野における優れた研究業績と人文科学の深い素養を兼ね備えた教員を任用する。あわせて、共通科目の外国語科目・キリスト教学・保健体育科目、学芸員課程、日本語教員養成課程、社会教育主事養成課程の運営に必要な教員を配置する。共通科目、専門科目、各資格課程の科目のいずれにおいても、教育上主要と考えられる科目については、なるべく基幹教員が担当するよう配置する。なお、3つのコースには、それぞれ以下に定める条件を満たした教員を配置するが、学科カリキュラム運営の必要に応じて、コース間での柔軟な人員配置を可能とする。

- ・英語文化コースの教員に求められるのは、英語コミュニケーション、英語学、英語圏文化、英語文学、英語教育、異文化コミュニケーションの各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。あわせて、教職課程（中学校・高等学校「外国語（英語）」）の運営に必要な教員を配置する。
- ・グローバル歴史文化コースの教員に求められるのは、日本・アジア・欧米の歴史と文化（文学・芸術・思想・宗教）の各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。あわせて、教職課程（中学校「社会」、高等学校「地理歴史」、「公民」）の運営に必要な教員を配置する。
- ・多文化協働コースの教員に求められるのは、多文化共生社会の実現に向けた国際協力・開発、言語、教育の各分野における高度で確かな専門的知識と、これらの諸分野にわたる広い学術的関心・意欲である。

3 [教員構成] 国際文化学科では、学科の専門分野と育成する人材像を踏まえ、先進的な研究能力を有する研究者や当該分野における高度な専門的指導者、教材開発能力を持つ者を広く国内外に求める。また、教員の任用に当たっては、教員組織の多様性に留意しつつ、年齢・性別構成、専門分野等のバランスに配慮する。